

ヒロシマを受け継ぐ —若者たちの取組—



「VR爆心地」制作風景(広島県立福山工業高等学校計算技術研究部)



「原爆の絵」制作風景(広島市立基町高等学校創造表現コース)



左:ピースモニュメントの展示風景
右:「八月五日」(演劇部)(広島市立広島商業高等学校)



平和活動を行う同好会「p-step」による碑めぐりの様子
(ノートルダム清心中・高等学校)



交換留学生への平和ガイドの様子(広島なぎさ中学校・高等学校)



「光の肖像」制作風景(広島市立大学芸術学部)

開催期間 令和2年7月4日(土)～9月6日(日)

【期間中の休館日】 月曜日(8月10日を除く)、7月28日(火)、7月31日(金)、8月11日(火)

【期間中の開館時間】 火～金 / 9:00～19:00

7・8月の土・日、7月23日(木・祝)、7月24日(金・祝)、8月6日(木)、8月10日(月・祝) / 9:00～18:00
9月5日(土)、9月6日(日) / 9:00～17:00

会場 広島市立中央図書館 2階 展示ホール

**入場
無料**

主催 / 広島市立中央図書館

協力 / 広島平和記念資料館、広島市立大学、東京大学大学院渡邊英徳研究室、広島県立福山工業高等学校、広島市立基町高等学校、
広島市立広島商業高等学校、広島市立広島工業高等学校、進徳女子高等学校、ノートルダム清心中・高等学校、広島なぎさ中学校・高等学校

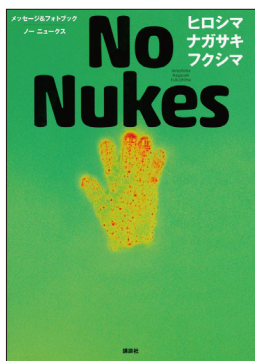
展示について

被爆75周年を迎え、被爆者の高齢化が進む中、次世代への被爆体験の継承が課題となっています。広島市立中央図書館では、被爆70周年を迎えた平成27年(2015年)度から、次世代を意識した、「伝える」・「つなぐ」という視点からの展示を行っています。

今年度は、被爆の実相や被爆体験について伝える活動を行う、広島と長崎の高校生・大学生の取組に焦点をあて、所蔵資料や写真パネルで紹介する展示を行います。



『戦争体験を「語り」・「継ぐ」』
大石学 / 監修 学研プラス 2018年



『No Nukes』
[No Nukesヒロシマ ナガサキ フクシマ]編集部 / 編 講談社 2015年



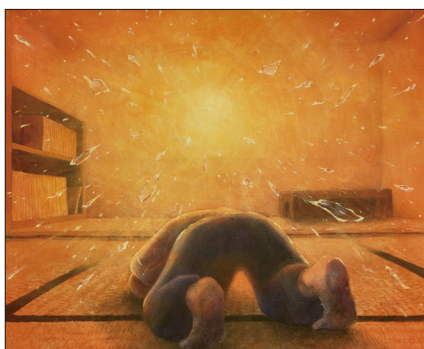
『高校生平和大使にノーベル賞を』
『高校生平和大使にノーベル賞を』刊行委員会 / 編 長崎新聞社 2018年



『ある晴れた夏の朝』
小手鞠るい / 著 信成社 2018年



『爆心直下から広島県産業奨励館(原爆ドーム)を望む』
米軍 / 撮影 広島平和記念資料館 / 提供



『閃光』小川美波 / 制作 広島平和記念資料館 / 所蔵
(広島市立基町高等学校創造表現コース「原爆の絵」)



『肖像No.27』大畑穂浩 / 制作 2005年
(広島市立大学「光の肖像」)

映像のリポート再生

- ・「記憶の解凍」映像作品(庭田杏珠×山浦徹也 / 制作)
- ・「VR爆心地」のデモ映像
(広島県立福山工業高等学校計算技術研究部 / 制作)
- ・「広島 愛の川」
(2019年 広島市立基町高等学校創造表現コース / 制作)
- ・「少女の祈り(いのり)」
(2018年 広島市立基町高等学校創造表現コース / 制作)
- ・「広島市立広島商業高等学校演劇部の作品」(部分)



『製作中の「VR爆心地」細工町や猿楽町2』
広島県立福山工業高等学校計算技術研究部 / 制作

銅板折り鶴の展示

普段は3階広島資料室前で展示している銅板折り鶴を2階展示ホールで展示します。



『平和を願う銅板千羽鶴』
広島市立広島工業高等学校機械科 / 制作

「記憶の解凍」プロジェクトのパネル展示

『AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争』(庭田杏珠×渡邊英徳 / 編 光文社 2020年)よりパネル展示します。



『戦前の本通り』
庭田杏珠×渡邊英徳 / カラー化

お問い合わせ

広島市立中央図書館

広島市中区基町3番1号

TEL 082-222-5542 FAX 082-222-5545

<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

